

## b-3 中山のタテヤマスギ



▲写真 T-013 幹周日本一のスギ なかやま ぼんだいすぎ 中山の万代杉

### ▲北側よりの樹形

これ程複雑に巨大化した天然杉は、屋久島のウィルソン株から原生林に分け入った途中にあった無名の巨大な空洞を持つヤクスギくらいである。残念ながらこのヤクスギは、取材疲労のため取材できなかった。

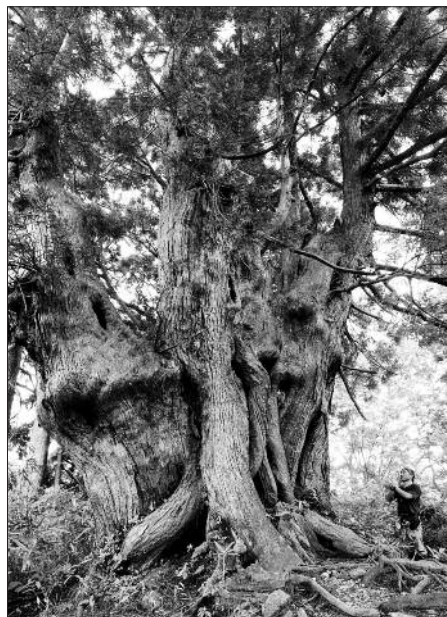
二本の古株更新の大杉が融合したと考えられるもの。一本の古株は上の写真では中央の空洞で、背後に回ると左上に見える南幹の根元に巨大な空洞がある。

地上2m程まで完全に融合しているため、幹周日本一のスギとなった。これ程大きくなると、全体が藪の様に見え、近くの登山道を登っていても、その存在に気が付かない。



▲写真 T-014 なかやま はんにやすぎ 中山の般若杉

山頂近く、登山道脇にある古株更新の怪樹である。



▲写真 T-015 なかやま いだてんすぎ 中山の韋駄天杉

尾根の登山道にあり、古株更新の樹形。中山の六本杉の一本。

写真 T-016▶ なかやま よこづなすぎ 中山の横綱杉

登山道途中、斜面に立つ古株更新の樹形。

